



日本共産党・井上かつひろ議員

市議会一般質問 16 回・討論 59 回

市議会 (2020 年～ 2024 年)
一般質問回数と討論通告数

議員任期中、最後の 9 月議会が 8 月 20 日から始まっています。一般質問予定の議員が決まり、2120 年の改選後から今回の議会までの間、すべての定例議会でも一般質問を行ったのは、井上かつひろ議員を含む 3 人でした (左表参照)。
最終本会議で井上議員は圧倒的多数の 59 本の討論 (通告しない討論は含まれていない) を行っています。「市民の声を直接議会に届ける」役割を貫いています。

井上かつひろ市議の一般質問は 8 月 30 日 (金)、2 番目午前 11 時頃 (2 面)

会派名	議員名	一般質問回数	最終本会議の討論	備考	
会派に属さない(※)	井上 勝博	16	59	共産党	
創造薩摩川内	帯田 裕達	8	0	議長	
	大田黒 博	2	0		
	石野田 浩	4	0	監査委員	
	宮里 兼実	4	0		
	新原 春二	1	0		
	下園 政喜	7	0		
	創和会	森満 晃	12	0	前期2年議長
		落口 久光	16	0	
川添 公貴		5	0	前期2年監査委員	
瀬尾 和敬		3	0		
自民創志会	福田 俊一郎	2	0		
	徳永 武次	1	0		
	山元 剛	7	1		
新創会	阿久根 憲造	15	0		
	溝上 一樹	15	2		
	山中 真由美	13	1		
公明党	成川 幸太郎	12	0		
	犬井 美香	16	1		
令和会	坂口 正幸	13	0		
	中島 由美子	12	0		
令和会	塩田 耕太郎	12	0		
	岩切 正之	6	1		
会派に属さない	森永 靖子	12	0		

※二人以上でないといと会派は認められていません。井上勝博議員は日本共産党です。会派は現在名です。

川内原発停止を要請

日向灘地震を受け鹿児島実行委

14 日、ストップ川内原発！ 3・11 鹿児島実行委員会は、九州電力に対し、8 日の日向灘を震源とする地震を受けて川内原発を停止するよう緊急の申し入れを行いました。

要請書は、8 日の日向灘の地震はさらに M7 級以上の地震がおこる可能性を高め、このこと、運転開始から 40 年を経過する老朽原発は

不測の事態を起こす危険があること、川内原発の周辺には未知の活断層が存在する可能性があること、能登半島地震で志賀原発が稼働中であれば事故に至る可能性があったことなどから「定期検査中の川内原発 1 号機を再開しないこと」「運転中の 2 号機を停止すること」を要請しました。



川内原発を停止するよう要請する、会のメンバー = 14 日、鹿児島市

投票では、▽地震が起きた時、何が心配か▽福島第一原発事故による帰還困難区域がいまだにあることを知っているか▽川内原発が事故を起こしたときに避難できるか▽川内原発の稼働延長についてどう思うかーなどを訊

ねました。原発事故が起きた時に「被ばくするかもしれない」40 人に対し、「安全に避難できる」とどの回答は 3 人にとどまりました。川内原発が 40 年を超えて運転していることについて「仕方ない」10 人に対し、「事故が起き

ないか心配」は 48 人と、多くの人が不安を感じていることがわかりました。
井上かつひろ薩摩川内市議、松崎真琴党県書記長 (衆院九州・沖縄ブロック比例、鹿児島 2 区重複) も参加しました。

エプロンおばさんの 簡単クッキング (644)



アボガドの鉄火丼

材料 (2人分)
 マグロ (刺身用) 1 さく (200g)、アボガド 1 個、温かいご飯茶わん 2 杯分、A (しょうゆ・みりん各 2 大、すりおろしたショウガ 1 片分、練わさび・ゆずこしょう各適量)、焼きのり適量、マヨネーズ適量 (好みで)

- 作り方
- ① マグロは食べやすく切り、ボウルに入れて A とまぜる。
 - ② アボガドは皮と種を取り、食べやすく切って①にまぜる。
 - ③ 茶わんにご飯を入れる。焼きのりを手でちぎってのせ、②をのせる。好みでマヨネーズをかける。

こちらくらしの相談所
 (No. 584)
 携帯 080-3996-0237
 (井上)
 なんでもご相談ください。

樋脇の資源ごみ回収を月二回にしてほしい
 (相談)
 「資源ごみの回収は入来や川内など月に2回

あるのに樋脇町は1回です。月2回、回収して欲しい。」
 (市の回答)
 合併以前の流れから、樋脇地域については、これまで資源ごみの回収は月1回としており各自治会の協力により資源物収集所の管理運営していただいています。各自自治会で回収した資源物については、市が一般廃棄物収集運搬許可業者(以下「許可業者」という。)に委託し、各地区ごとに収集を行っているところでは、許可業者の体制の確保も必要ではありませんが、樋脇地域全体で月2回、回収して欲しいと市に対して要望がありましたら、変更の可能性について検討したいと思います。

9月市議会 井上かつひろ市議の一般質問は 8月30日(金) 2番目午前11時頃

市議会傍聴は誰でもできます。市役所4階の傍聴席入口からお入りください。なお質問は予定よりも早く始まる場合もあります。

- 1 学校に、大阪・関西万博を修学旅行先に選定するに当たってリスクを知らせるべきではないか。
 - 2 アクセスの問題はないか。
 - 3 事前の下見が困難ではないか。
 - 4 新型コロナウイルスワクチンの定期接種費用の自己負担額を無料にできないか。
 - 5 会計年度任用職員「3年目公募」の廃止を市議会は、非核都市宣言を決議している
 - 6 薩摩川内市は非核宣言都市という認識はあるか
 - 7 南海トラフ地震
- 設置していない世帯を対象に設置補助ができるか。
 可能性は高まっている。巨大地震は避けられないが、原発事故は防ぐことができる。川内原発の運転停止の申入れができるか。
 南海トラフ地震の被害をどのように想定しているか。
 自然災害は避けられないが、原発事故は避けることができるか。
 川内原発の運転延長について、考え直す気はないか。

(訂正とお詫び)
 きずな1088号の「こちらくらしの相談所」コーナーで市営住宅減免基準「金額が2万5001円から50万円以下」は「金額が2万5001円から5万円以下」の間違いでした。訂正しお詫びします。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生の つれづれなるままに (769)



暑い。とにかく暑いのである。幼いころもこうであったのだらうか。夏だから当然暑かったが、もっ少しからつとしていたように思う。今は蒸し風呂だ。暑いさなか、小さいころは泳ぎに行きたくても、強引に昼過ぎの2時までには昼寝をさせられた。昔は日射病と言っていたが、いまで言う熱中症対策であったらう。2時になると、4時ごろまでは水につかっていた。近所の子どもたちもみんなそうだった。多いときは30名近くの子どもたちが泳いでいて、水の中で体がすれ違う時のヌルとした感触は、今でも記憶に鮮明だ。泳ぎ疲れて、西日を浴びながら帰る足取りは、まるで夢遊病者のようだった。今の子どもたちはどうだろう。児童クラブの子どもたちは一日中クーラーの中にもいる。泳ぎに連れていきたくてもライフジャケットが必要。まったく子どもたちのなかから野性味が失われていくようで心配だ。うちの孫たちは、私の監視のもと、自由に裏の川で泳いでいた。ある時はもう時間がないと、孫にせがまれて川に出かけて行ったこともある。おかげさまで3人が3人とも、順調に子ども時代をセミの抜け殻として潜り抜け、大人になっていったような気がする。一人は看護師として。もう一人はレントゲン技師として。最後の一人は高2だが、消防士になると言っている。この子たちの成長を見届けて私は、それこそセミの抜け殻となっていくのだらう。遠くの木々で、ひと夏の命を激しく蝉が鳴いている。(児童クラブ支援員)